

1 市立病院の担うべき責務と課題

- ・ 地域住民の生命を守るため、地域に必要な医療を安定的に提供し続けることが求められている。特に高度医療や救急医療などの不採算部門については、「公」が役割を担っていくことが必要
- ・ 医師、看護師の不足、病院勤務医の過重労働問題、診療報酬の抑制などにより厳しさが増大
- ・ 経常収支の赤字

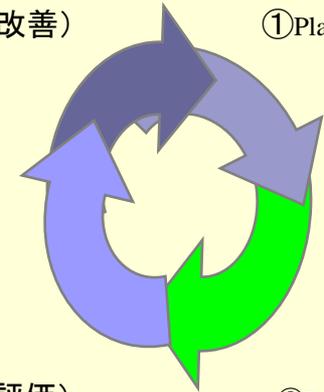
2 経営計画の必要性

地域医療サービスを将来にわたって持続的に提供していくためには、経常収支の調和のとれた安定的な経営を行い、自ら経営基盤の確立を目指すことが必要(公であるがゆえに担う不採算部門を除く。)

- 経営改善に向けた計画的な取り組みが必要であることから「清水病院経営計画」を策定。
- 計画的に経営するとともに、適時適切に計画を見直し

④Action(改善)

①Plan(計画)



③Check(評価)

②Do(実行)

3 経営計画の対象期間

平成21年度～25年度

(経営効率化に係る事項は平成21年度～23年度)

4 病院の果たすべき役割

- ・ 清水地区における急性期医療を担う基幹病院としての役割
特に、「脳卒中」、「がん」治療を推進
- ・ 地域における救急医療体制の中核としての役割
- ・ 自然災害や大規模事故などの災害時における災害拠点病院としての役割

市立病院改革の取組方針

「公としての役割」と「健全経営の実現」の両立

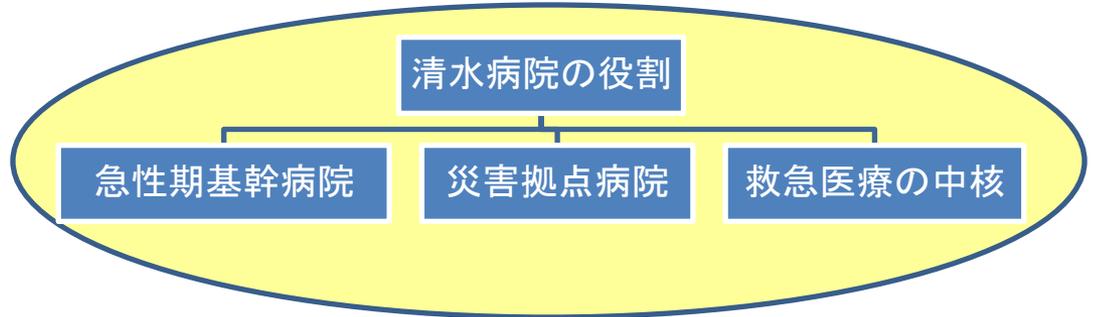
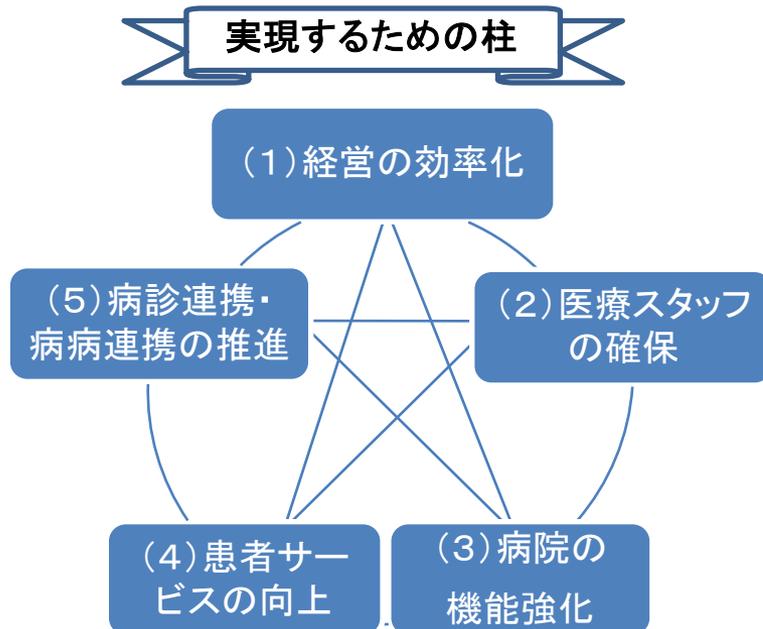
バランスが重要

「公の役割」とは・・・

高度医療や救急医療など、一般的に不採算とされる医療であっても、地域に必要な医療は提供し、医療の質を確保・向上すること。

「健全経営の実現」とは・・・

合理的かつ効率的な経営を行うことで、企業としての経済性を十分に発揮し、財政的基盤を充実させて持続的な病院運営を行うこと。



【取組内容】

(1) 経営の効率化

- ①収入確保・・・診療収入の増、使用料の見直し、未収金の減 外
- ②経費節減・・・人件費、材料費(薬品・診療材料)、経費の見直し
- ③一般会計繰入金・・・負担金の見直しと補助金の抑制
- ④適切な起債の借入・償還計画

(2) 医療スタッフの確保

魅力ある職場環境の提供、業務の負担軽減、ホームページ等での病院のPR

(3) 病院の機能強化

地域医療支援病院等の新たな認可取得、高度医療機器・ICUの整備
(地域医療支援病院として平成23年9月29日承認)

(4) 患者サービスの向上

医療情報の発信、患者満足度調査の実施、高度医療機器・設備の整備

(5) 病診連携・病病連携の推進

地域医療支援病院の認定、医師会・歯科医師会、公的病院との連携強化

(H23.9.29 承認済)

財務に係る数値目標

- ・ 実質収支比率・・・(経常収益－経営安定のための補助金) ÷ 経常費用 × 100
- ・ 医業収支比率・・・医業収益 ÷ 医業費用 × 100
- ・ 職員給与比率・・・職員給与費 ÷ 医業収益 × 100
- ・ 病床利用率・・・年延入院患者数 ÷ 年延許可病床数 × 100
- ・ 材料比率・・・材料費(薬品、診療材料等) ÷ 医業収益 × 100
- ・ 薬品比率・・・薬品費 ÷ 医業収益 × 100

ア 経営指標

(単位：%)

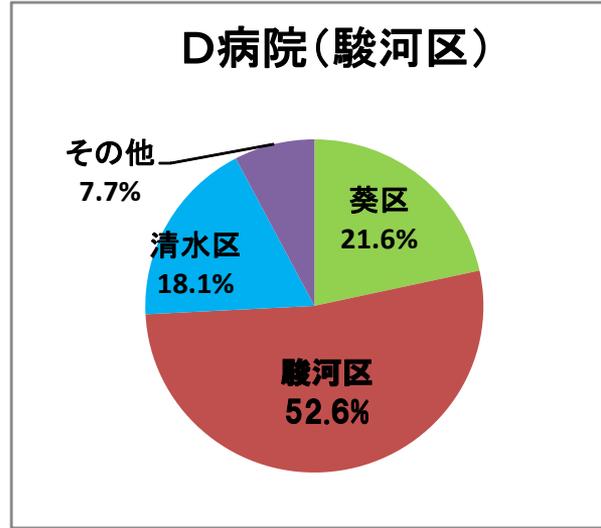
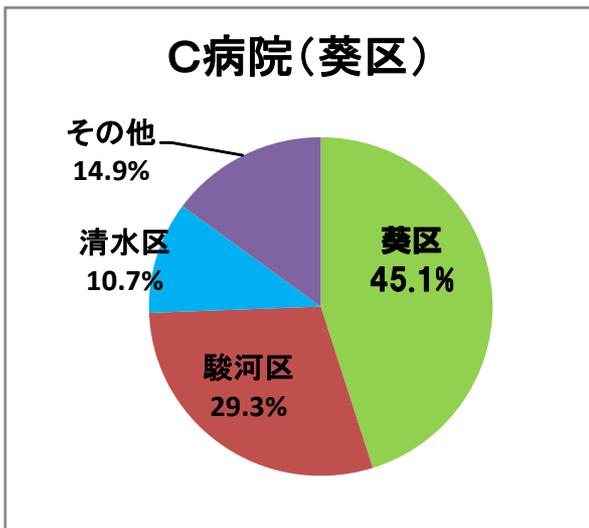
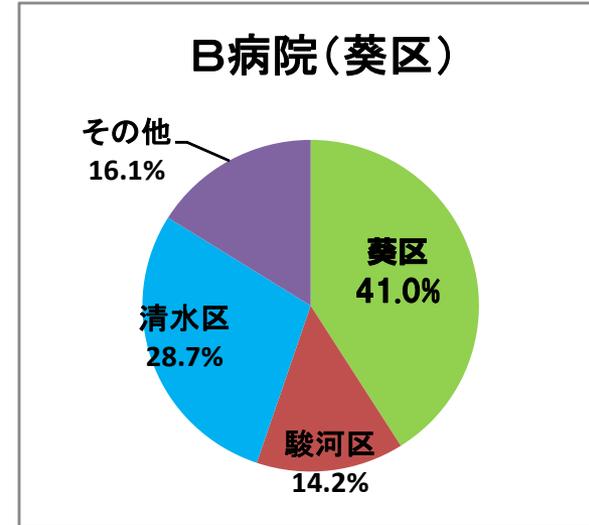
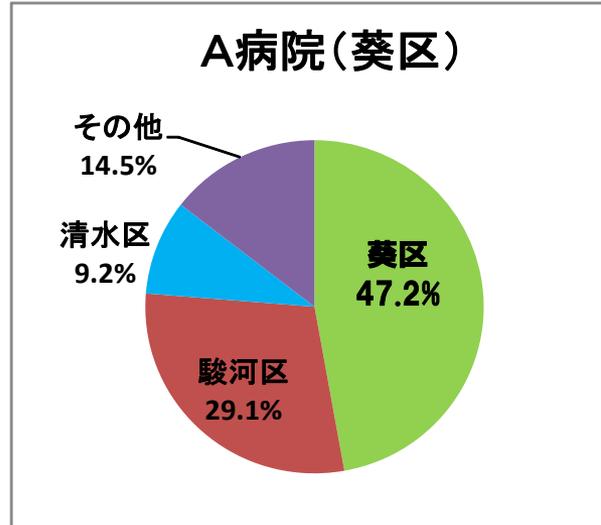
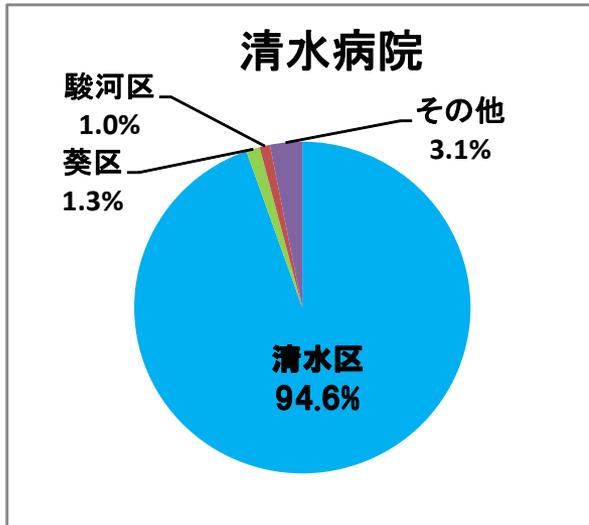
| 年度末 指標名 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 (見込) | 25年度 (予算) |
|------------|------|------|------|------|------|--------------|--------------|
| 実質収支比率 | 97.3 | 96.2 | 91.8 | 94.7 | 96.9 | 96.9 | 97.5 |
| 医業収支比率 | 90.7 | 90.4 | 86.1 | 88.4 | 91.0 | 91.4 | 92.0 |
| 職員給与費比率 | 50.1 | 50.0 | 55.7 | 54.2 | 51.9 | 50.5 | 49.5 |
| 病床利用率 | 83.5 | 84.9 | 78.2 | 80.6 | 80.3 | 77.5 | 77.8 |
| 材料比率 | 26.0 | 26.2 | 24.2 | 22.1 | 23.2 | 23.1 | 22.9 |
| うち薬品比率 | 14.9 | 15.7 | 14.4 | 12.8 | 13.6 | 13.7 | 13.5 |

イ 収支見通し

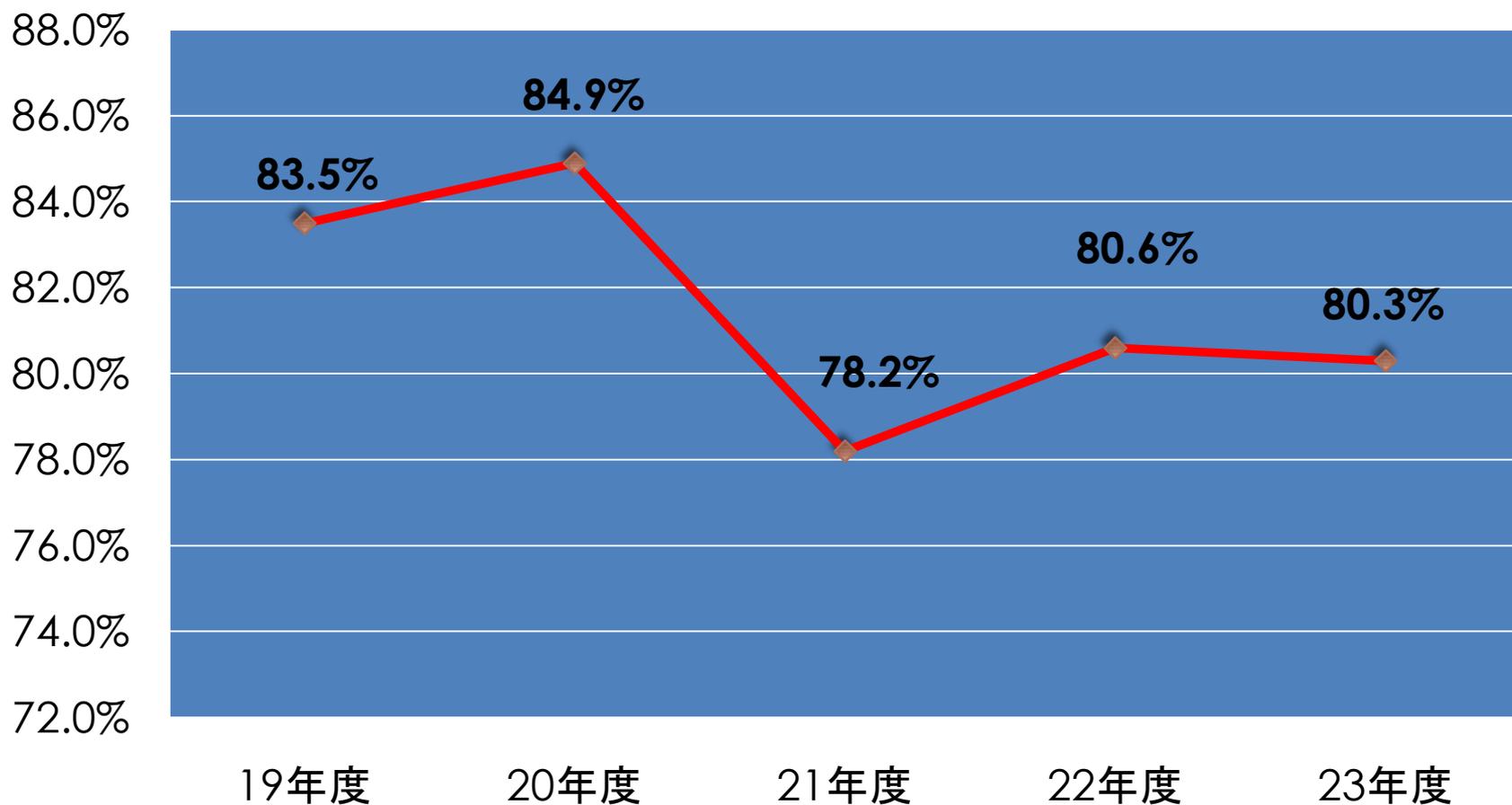
(単位：百万円)

| 年度末 指標名 | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 (見込) | 25年度 (予算) |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|--------------|
| 医業収益 | 9,095 | 9,126 | 8,909 | 9,466 | 9,833 | 10,088 | 10,073 |
| 医業外収益(実質) | 1,066 | 981 | 959 | 1,059 | 1,002 | 989 | 969 |
| 経常収益計(実質) | 10,161 | 10,107 | 9,868 | 10,525 | 10,835 | 11,077 | 11,043 |
| 医業費用 | 10,027 | 10,095 | 10,350 | 10,714 | 10,806 | 11,038 | 10,943 |
| 医業外費用 | 411 | 408 | 394 | 395 | 374 | 389 | 383 |
| 経常費用計 | 10,438 | 10,503 | 10,744 | 11,109 | 11,180 | 11,427 | 11,326 |

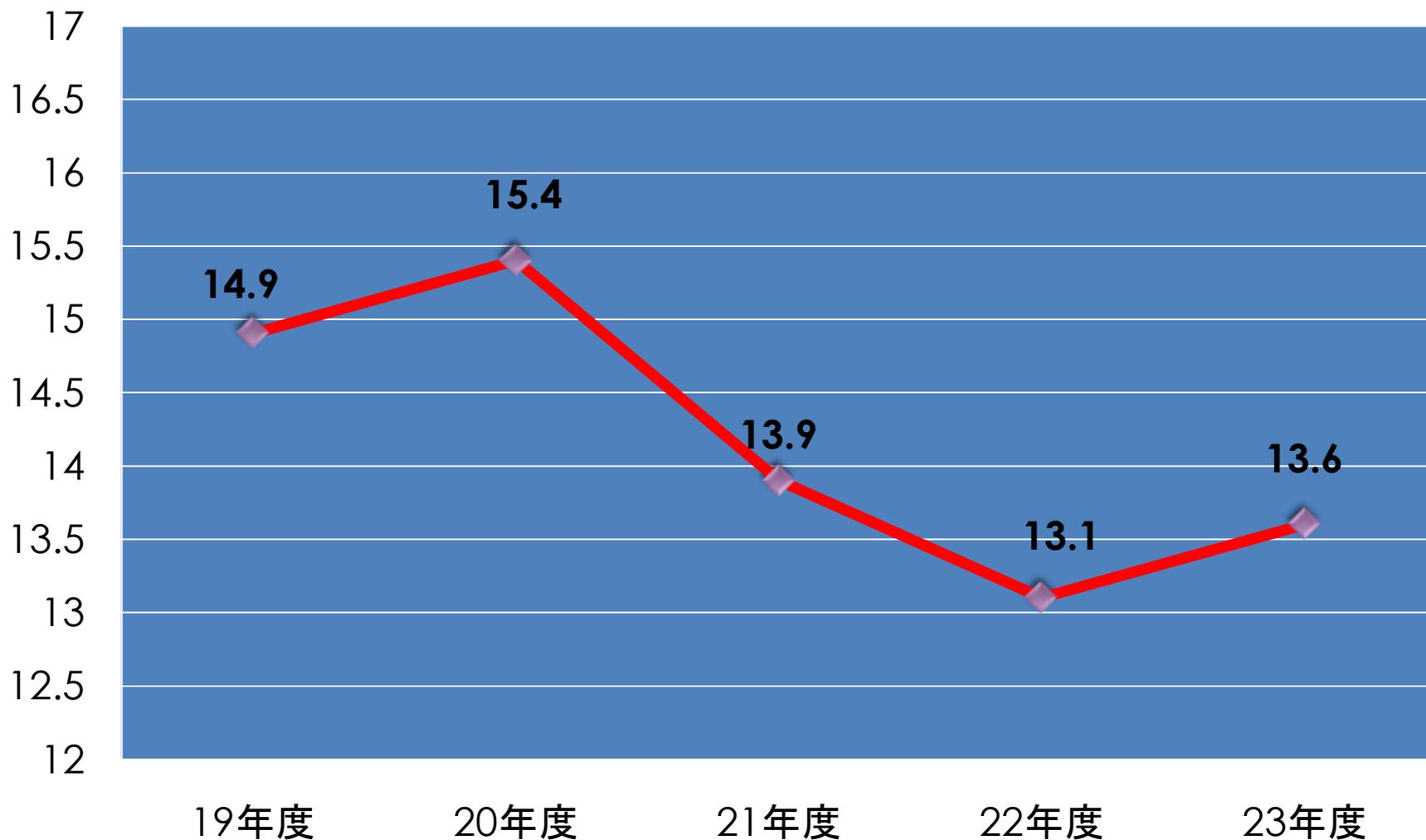
地区別患者の状況(入院)



病床利用率の推移（19～23年度）



平均在院日数の推移（19～23年度）

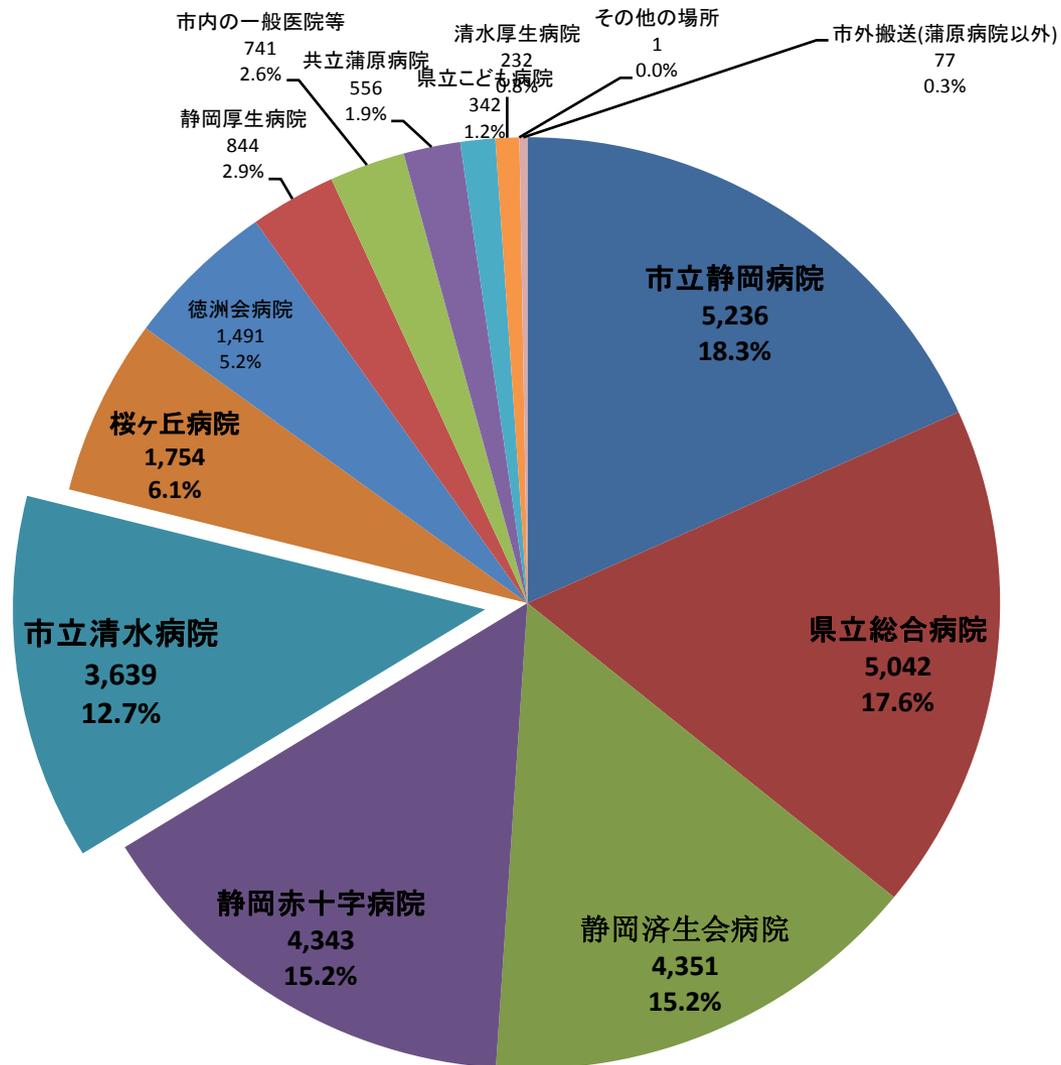


救急患者の状況(23年度)



| | 救急患者数 | 1日あたり |
|---------|---------|-------|
| 取り扱い患者数 | 11,593人 | 31.7人 |
| うち救急隊搬入 | 3,840人 | 10.5人 |

市内病院救急搬送の状況(平成23年)



医師1人あたりの救急搬送件数 (医師数に研修医を含む)

